



2025年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月1日

上場会社名 イー・ガーディアン株式会社 上場取引所 東
コード番号 6050 URL <https://www.e-guardian.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）高谷 康久
問合せ先責任者 （役職名）取締役 （氏名）佐藤 伸 TEL 03-6205-8859
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年9月期第3四半期の連結業績（2024年10月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年9月期第3四半期	8,609	1.5	1,206	△6.1	1,213	△5.1	781	△2.5
2024年9月期第3四半期	8,485	△6.6	1,284	△5.9	1,278	△8.0	802	△13.7

（注）包括利益 2025年9月期第3四半期 781百万円（△3.8％） 2024年9月期第3四半期 812百万円（△12.5％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期第3四半期	67.61	—
2024年9月期第3四半期	69.92	—

（注）「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」の算定上、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2025年9月期第3四半期	13,530	11,892	87.9
2024年9月期	13,360	11,404	85.4

（参考）自己資本 2025年9月期第3四半期 11,892百万円 2024年9月期 11,404百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	0.00	—	31.00	31.00
2025年9月期	—	0.00	—		
2025年9月期（予想）				35.00	35.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年9月期の連結業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	12,365	8.5	1,819	6.7	1,824	6.8	1,220	15.4	105.49

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

「1株当たり当期純利益」の算定上、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 有 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年9月期3Q	11,933,516株	2024年9月期	11,933,516株
② 期末自己株式数	2025年9月期3Q	339,671株	2024年9月期	399,718株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年9月期3Q	11,562,350株	2024年9月期3Q	11,471,372株

(注) 期末自己株式数には役員向け株式交付信託が保有する当社株式を含めて記載しております。また、期中平均株式数の算定に当たり、その計算において控除する自己株式に、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、第3四半期決算短信（添付資料）4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明資料の入手方法)

決算説明資料につきましては、決算発表後速やかにT D n e t 及び当社ウェブサイトに掲載予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(会計上の見積りの変更)	8

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善が進み、景気は緩やかに改善しております。一方でウクライナ情勢の長期化、中東情勢の緊迫化に加え、アメリカの経済政策等による不確実性が要因となり、依然として先行きは不透明な状況で推移しております。

当社グループを取り巻く国内のインターネット関連市場では、動画視聴やEC（インターネット通販）サービス、F i n t e c h関連サービスの拡大・成長傾向が継続しております。また、今後もインターネットにおける技術革新はますます進み、様々なサービスが展開されていくものと予想されますが、リモートワークの定着・拡大に伴うセキュリティへの不安の高まりやサプライチェーンのサイバーリスクなどサイバーセキュリティの課題は年々増え、かつ深刻化しており、全てのインターネットユーザーが安心して利用できるよう、安全性を求める声は引き続き高まりを見せております。

このような環境のもと、当社グループは経営理念「We Guard All」を掲げる総合ネットセキュリティ企業として、「AIと人のハイブリッド」を強みに、高品質かつ高効率のセキュリティワンストップサービスを提供してまいりました。また、当社親会社である株式会社チェンジホールディングス（以下「チェンジHD」といいます。）と日本国内におけるサイバーセキュリティのトップベンダーとなるための取り組みを進めてまいりました。

当社グループの主力サービスであるソーシャルサポートサービス、及び成長分野として位置付けているサイバーセキュリティは、インターネットの安心・安全を実現するために必要不可欠なものであり、今後もサービス品質の強化、プロダクトの改善、充実に努めてまいります。

当第3四半期連結累計期間では、EC・フリマサイト向けのカスタマーサポートが拡大するとともに、F i n t e c h関連サービスにおいて、本人確認業務が伸長しました。サイバーセキュリティ事業は、脆弱性診断が伸び悩んだ一方、クラウド型WAF（※）、コンサルティングサービスが伸長した結果、売上高は堅調に推移いたしました。また、営業体制を強化し新規顧客の開拓に取り組んだ結果、ソーシャルサポートやサイバーセキュリティにおいて新規顧客の売上高が前年同期比で増加いたしました。

チェンジHDとの協業の取り組みに関しては、ソーシャルサポート等の主力事業及びサイバーセキュリティ事業において、これまでに引き続き、チェンジHDグループの既存外注業務の当社への移管が拡大するとともに、相互の顧客基盤を活用した共同提案を行いました。また、高品質かつ効率的なサービスを提供し、更なる売上総利益率の改善を目的に、同グループの株式会社ガバナンステクノロジーズと連携し、問い合わせ内容の解析や返信文案の自動生成が可能となるAIエージェント型カスタマーサポートツールの開発に着手いたしました。

用語説明

（※）Web Application Firewallの略称。ウェブアプリケーションの脆弱性を悪用する攻撃を検出・防御し、ウェブサイトを保護するためのセキュリティ製品。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は8,609,306千円（前年同期比1.5%増）、営業利益は1,206,346千円（前年同期比6.1%減）、経常利益は1,213,185千円（前年同期比5.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は781,734千円（前年同期比2.5%減）となりました。

① ソーシャルサポート

ソーシャルサポートは、ソーシャルW e b サービス等の様々なインターネットサービスを対象に、投稿監視、カスタマーサポート及び風評調査等を提供しております。

当第3四半期連結累計期間では、E C ・フリマサイト向けのカスタマーサポート、F i n t e c h 関連サービスにおいては本人確認業務が伸長いたしました。また、営業体制を強化し新規顧客の開拓に取り組んだ結果、新規顧客の売上高が前年同期比で増加いたしました。

チェンジHDとの協業の取り組みに関しては、チェンジHDグループの既存外注業務の当社への移管が拡大するとともに、エンタープライズ系デジタルB P O 領域の拡大に向けた共同提案を実施いたしました。

その結果、売上高は5,453,629千円（前年同期比9.2%増）となりました。

② ゲームサポート

ゲームサポートは、主にソーシャルゲームを対象に、カスタマーサポート及びデバッグ業務等を提供しております。

当第3四半期連結累計期間においては、前四半期での家庭用ゲームへのカスタマーサポート案件獲得を足掛かりに、さらなる家庭用ゲームやP C ゲームの案件獲得に注かし、国内ゲームのカスタマーサポートの売上高が前年同期比で増加いたしました。

一方で、海外ゲームにおけるカスタマーサポート業務やローカライズ業務（言語翻訳や調整等の支援）が減少したため、減収となりました。

その結果、売上高は1,090,537千円（前年同期比10.0%減）となりました。

③ アド・プロセス

アド・プロセスは、インターネット広告審査業務及び運用代行業務を提供しております。

当第3四半期連結累計期間においては、E C ・フリマ向けの広告審査業務が伸長いたしました。一方で、新規顧客の売上高が伸び悩み、減収となりました。

その結果、売上高は967,708千円（前年同期比8.6%減）となりました。

④ サイバーセキュリティ

サイバーセキュリティは、主に脆弱性診断、W A F、セキュリティの経営課題を解決するコンサルティングサービスを提供しております。

当第3四半期連結累計期間においては、市場のニーズの変化により脆弱性診断が伸び悩む一方で、クラウド型W A F の拡販が伸長するとともに、コンサルティングサービスの売上高が前年同期比で増加いたしました。

また、当上期に事業責任者及び営業責任者の採用を行い、引き続きサイバーセキュリティ事業の体制強化を進めた結果、脆弱性診断において、新規顧客の売上高が増加いたしました。加えて、簡易診断の開発に着手するなど市場の変化への対応に注力いたしました。

さらに、採用、教育の強化やマーケティング施策を実施するとともに、チェンジHDとの共同提案等の取り組みに注力いたしました。

その結果、売上高は678,973千円（前年同期比0.8%増）となりました。

⑤ その他

その他は、主にハードウェアに対するデバッグ業務を提供しております。完全子会社であるE G テスティングサービス株式会社が、30年以上の経験とノウハウに裏打ちされた高品質なサービスを訴求し、深耕営業、新規開拓に取り組みました。

その結果、売上高は418,456千円（前年同期比23.3%減）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、12,143,735千円となり、前連結会計年度末における流動資産11,870,273千円に対し、273,461千円の増加（前連結会計年度末比2.3%増）となりました。

これは主に、現金及び預金が338,046千円増加した一方、売掛金が81,585千円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、1,386,977千円となり、前連結会計年度末における固定資産1,490,092千円に対し、103,114千円の減少（前連結会計年度末比6.9%減）となりました。

これは主に有形固定資産が24,786千円減少、のれんが72,190千円減少したことによるものであります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における総資産は、13,530,712千円（前連結会計年度末比1.3%増）となりました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は、1,638,348千円となり、前連結会計年度末における負債1,956,206千円に対し、317,857千円の減少（前連結会計年度末比16.2%減）となりました。

これは主に、流動負債の未払金が120,602千円増加した一方、賞与引当金が52,677千円減少、未払法人税等が321,098千円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、11,892,363千円となり、前連結会計年度末における純資産11,404,159千円に対し、488,204千円の増加（前連結会計年度末比4.3%増）となりました。

これは主に、剰余金の配当363,070千円を実施した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益781,734千円を計上したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当年度の業績予想は、2024年11月5日公表時点から変更なく、現時点で業績予想の修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

（1）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,402,138	10,740,184
売掛金	1,342,350	1,260,765
仕掛品	6,948	10,138
その他	119,103	132,902
貸倒引当金	△267	△255
流動資産合計	11,870,273	12,143,735
固定資産		
有形固定資産	570,101	545,314
無形固定資産		
のれん	288,761	216,571
ソフトウェア	44,596	55,348
その他	84,195	52,739
無形固定資産合計	417,554	324,658
投資その他の資産		
敷金及び保証金	400,717	413,446
その他	101,718	103,558
投資その他の資産合計	502,436	517,004
固定資産合計	1,490,092	1,386,977
資産合計	13,360,366	13,530,712
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,434	4,594
未払金	810,693	931,295
未払費用	14,235	6,187
未払法人税等	481,106	160,007
未払消費税等	165,652	151,050
賞与引当金	90,514	37,837
その他	159,374	162,250
流動負債合計	1,725,011	1,453,224
固定負債		
役員株式給付引当金	117,962	134,500
長期預り保証金	47,644	33,018
その他	65,588	17,605
固定負債合計	231,194	185,124
負債合計	1,956,206	1,638,348
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,967,618	1,967,618
資本剰余金	1,989,975	1,989,627
利益剰余金	8,125,677	8,545,981
自己株式	△714,940	△646,804
株主資本合計	11,368,330	11,856,422
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	35,828	35,940
その他の包括利益累計額合計	35,828	35,940
純資産合計	11,404,159	11,892,363
負債純資産合計	13,360,366	13,530,712

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位: 千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
売上高	8,485,828	8,609,306
売上原価	5,995,067	6,050,810
売上総利益	2,490,761	2,558,495
販売費及び一般管理費	1,206,676	1,352,148
営業利益	1,284,084	1,206,346
営業外収益		
受取利息	43	8,067
補助金収入	10,553	2,579
その他	6,234	3,330
営業外収益合計	16,830	13,977
営業外費用		
支払手数料	14,109	—
為替差損	7,525	4,702
その他	1,169	2,435
営業外費用合計	22,803	7,138
経常利益	1,278,112	1,213,185
特別損失		
固定資産除却損	9,046	3,139
資本業務提携・増資関連費用	57,960	—
特別損失合計	67,007	3,139
税金等調整前四半期純利益	1,211,104	1,210,046
法人税、住民税及び事業税	434,741	433,938
法人税等調整額	△25,759	△5,626
法人税等合計	408,981	428,311
四半期純利益	802,122	781,734
親会社株主に帰属する四半期純利益	802,122	781,734

（四半期連結包括利益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2023年10月1日 至 2024年6月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2024年10月1日 至 2025年6月30日）
四半期純利益	802,122	781,734
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	10,415	112
その他の包括利益合計	10,415	112
四半期包括利益	812,538	781,846
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	812,538	781,846

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれん及び顧客関連資産を除く無形固定資産に係る償却費を含む。）、のれん償却額及びその他の償却額は、以下の通りであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	71,737千円	70,094千円
のれん償却額	72,190千円	72,190千円
その他の償却額	31,456千円	31,456千円

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、インターネットセキュリティ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(会計上の見積りの変更)

(耐用年数及び資産除去債務の見積りの変更)

当社は、第2四半期連結会計期間において、熊本センター移転時期の決定を行いました。これに伴い、移転後利用見込みのない固定資産について耐用年数を短縮し、将来にわたり変更しております。

また、原状回復費用に関して見積りの変更を行うことで、敷金の回収が最終的に見込めないと認められる金額を合理的に見積り、そのうち当第3四半期連結累計期間の負担に属する金額を費用に計上しております。

この見積りの変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ16,187千円減少しております。